

米国アカデミー賞公認 国際短編映画祭 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2014 グランプリはインドネシアの新星監督 話題賞が市原隼人さん、ベストアクトレスアワードに有村架純さんが決定

今年で16回目の開催となる米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA)」のアワードセレモニーが、6月9日(月)、AiiA theater Tokyoにて行われ、グランプリ作品がアジア インターナショナル部門から、インドネシアの作品『ホールインワンを言わない女』に決定しました。グランプリ作品は、次年度(2015年2月に開催される)米国アカデミー賞短編部門ノミネート選考対象作品となります。

セレモニーでは、その他オフィシャルコンペティション3部門、CGアニメーション部門の優秀賞、音楽から生まれたショートフィルムを上映した「ミュージックShort部門」からシネマチックアワード、UULAアワード、モエ スターアワードが発表されました。

また、日本のショートフィルム文化の発展・普及に貢献した作品・人物に贈られる「話題賞」は、数々の映画・ドラマで活躍し、自身でもショートフィルム『Butterfly』を監督、主演をしている市原隼人さんに決定。オフィシャルコンペティション作品の中から優秀な女優に贈られるベストアクトレスアワードには、『平穏な日々、奇蹟の陽』(ジャパン部門で上映)に出演の有村架純さんが選ばれました。

完成披露上映された芦名星主演ショートフィルム「あのとときのFlavor・・・」は、本日よりエンタテインメントサイト「ネスレア ミューズ」(<http://nestle.jp/>)内に開設しているWeb上の無料映画館「ネスレシアター on YouTube」で公開されます。

(話題賞を除く)各受賞作品は、6月18日(水)から7月にかけて本映画祭と連動したショートフィルム専門映画館ブリリア ショート ショートシアター(横浜・みなとみらい)にて上映を予定しています。

※本セレモニー内で発表の受賞作品等に関しては別紙をご参照ください。

SSFF & ASIA 204 グランプリ作品 / アジア インターナショナル部門 優秀賞(東京都知事賞)



【監督経歴】

2007年アジアフィルムアカデミー卒業の新星。初の長編『Peculiar Vacation and Other Illnesses』は2012年ロカルノ国際映画祭でワールドプレミアを迎えただけでなく、同年のバンクーバー国際映画祭龍虎賞特別表彰を受賞。

『ホールインワンを言わない女』(A Lady Caddy Who Never Saw a Hole In One)

監督:ヨセフ・アング・ノエン / インドネシア / 14:11 / フィクション / 2013

ゴルフレッスン、ラブストーリー、そして怒り。

■オフィシャルコンペティションの応募数と上映数

	総応募数	上映数	上映作品の参加国と地域
①インターナショナル部門	3,297	37	17
②アジア インターナショナル部門	635	17	9
③ジャパン部門	332	14	※日本作品を上映
オフィシャルコンペティション全体	4,264	68	27

■優秀賞賞金:60万円

※優秀賞はオフィシャルコンペティション各部門から1作品に贈られる部門別の最高賞。

また、アジア インターナショナル部門、ジャパン部門の優秀賞には東京都知事賞が贈られます。

■審査員(五十音順/敬称略):

石坂浩二さん、北村龍平さん(映画監督)、湊かなえさん(小説家)、ローレンス・レイモンドさん(カンヌ監督週間 短編部門選考員)

インターナショナル部門 優秀賞



【監督経歴】

1980年マインツ生まれ。ジュネーブ、ミュンヘン、メルボルンで学んだ後ベルリン自由大学にてコミュニケーション学を修了。杖代わりだったカメラの本来の使いみちも覚え、Stephan Müllerと共にKAMERAPFERDを創立。

『サイの行進』(Rhino Full Throttle)

監督: エリック・シュミット / ドイツ / 14:59 / フィクション / 2013

街の魂なるものを探すブルーノは、好奇心、想像力、観察力をもって街の古びたイメージをはがし始める。彼は街にあるパターン、空間、外装を使って、まだ見ぬ街の姿を明らかにしていく。

ジャパン部門 優秀賞 / 東京都知事賞



【監督経歴】

1983年生まれ。大阪府大阪市出身。東京都在住。会社員。「ネコのあたまでお散歩を。」で第六回逗子湘南ロケーション映画祭シナリオ大賞受賞。他、自主製作映画の脚本を担当。本作が初監督作品となる。

『一秒の奏でる世界』(An innocent beat)

監督: 小寺和久 / 日本 / 19:07 / フィクション / 2013

子どもは学校以外で外に出てはいけない。それがこの時代のルール。時間を失った世界。夏菜子は、夜を知らない、季節を知らない、一秒を知らない。ある日、夏菜子はルールを破って外に出る。変化に満ちた世界を知るために

CGアニメーション部門 優秀賞



【監督経歴】

2012年エミール・コールの卒業制作として本作品を手がける。現在はパリのCube Creativeスタジオに勤める。

『獣』(Carn)

監督: ジェフ・パルス / フランス / 5:22 / アニメーション / 2012

迷い子が生き残るための選択とその結末。吹雪の中で道に迷い死にかけている男の子。生き残る選択肢を与えられるがその代償は...

CGアニメーション部門

国内外のコンテンツ業界に多数のクリエイターを輩出しているデジタルハリウッドとのコラボレーションにより、今年4年目を迎えたCGショートフィルムの特集。今年は31カ国より227作品の応募があり、日々進化し続ける様々なCG技術を駆使した俊作22本(11ヶ国)が上映されました。

総応募数: 227 上映数: 22作品(特別上映作品を除く) 上映作品の参加国と地域: 11 賞金: 60万円

審査員(五十音順/敬称略):

荒牧伸志、紀里谷 和明(写真家・映像クリエイター・映画監督)、杉山知之(デジタルハリウッド大学 学長)

ミュージックShort部門 シネマチックアワード



『半パン魂』(Hanpan Spirit)

監督: ZUMI / 日本 / 4:04 / ミュージックShort / 2014

アーティスト: ヒヤダイン 楽曲: 半パン魂 終わらぬ子供心を描いたハートフルフィルム。

【監督プロフィール】

広島県出身。大学卒業後、フリーランスとして活動を開始。VFXやアニメーション等様々な手法を用いた実写映像演出を手掛け、ドリームフィルムズZ-cupを設立。夢のある映像をモットーに多岐にわたって展開中。

【ヒヤダイン: プロフィール】

動画投稿サイトに「ヒヤダイン」として作品を公開。男声・女声を一人で歌い上げる斬新なスタイルが反響を呼び、ネット上を席巻。その後2011年に「ヒヤダインのカカカタ☆カタオモイ-C」でメジャーデビュー。

ミュージックShort部門 UULAアワード



『めちゃくちゃなステップで』(At a freewheeling step)

監督: アベラヒデノブ / 日本 / 10:00 / ミュージックShort / 2014

アーティスト: クラムボン 楽曲: NOW!!! (2010ver.)

脳内麻薬物質『ビートピオイド』の発見に伴い、世界では全ての音楽が重犯罪として法律で禁止された。音楽を愛する野中家は迫害を受け一家離散。残された一人娘ハルカの、音楽と家族を取り戻すための疾走が始まる。

【監督: アベラヒデノブ プロフィール】

映像作家・俳優。ニューヨーク出身。3歳の時に帰国して以来、関西で育つ。大阪芸術大学映像学科を2012年に卒業。

【クラムボン: プロフィール】

シングル『はなればなれ』で、1999年にメジャーデビュー。野外フェスも数多く出演し、ライブ・バンドとしての評価も高い。2015年には結成20周年を迎える。

■ミュージックShort部門 UULAアワードとは

映画も音楽もアニメも、多彩なジャンルの映像が詰まった総合エンタメアプリUULAが、若手映像作家の登竜門である「SSFF & ASIA」の趣旨に賛同。「SSFF & ASIA」と「UULA」がコラボレーションし、音楽業界、映像業界のさらなる活性化、そして若手クリエイターの発掘を目的として、SSFF & ASIA 2013よりミュージックShort部門に「UULAアワード」を設置。UULAアワードの受賞者1名には、この製作プロジェクトの監督の一人に選出され、完成した作品はUULAで独占先行配信。

■UULA(ウーラ)とは

株式会社UULA(エイベックス・エンタテインメントとソフトバンクによる合弁会社)が運営するソフトバンクモバイルのスマートフォン向け総合エンタメアプリ。映画やドラマ、アニメなど豊富な映像コンテンツに加え、ミュージックビデオやアーティストのライブビデオなど、多彩な音楽コンテンツをラインナップ。さらには、映像と音楽のコラボレーションをテーマにしたオリジナルコンテンツまで、60,000以上のコンテンツが全て見放題。

【視聴方法】ソフトバンク店頭 または UULA Webサイトより会員登録 ▶ アプリをダウンロード

【対応機種】SoftBankスマートフォン(Xシリーズ、204SHを除く/Android4.0以上)、iPhone/iPad(iOS5.0以降)

【ご利用料金】月額467円(税抜)

【公式サイト】uula.jp

注目の最新情報を発信中！今すぐチェック!!

【公式Facebook】facebook.com/UULA.official 【公式Twitter】twitter.com/UULA_official

話題賞 受賞者:市原隼人

日本のショートフィルム文化の発展・普及に貢献した作品・人物に贈られる賞



市原隼人が監督・主演、タイで撮影をしたアクションショートフィルム『Butterfly』

監督:主演 市原隼人 / 18分 / アクション / 日本 / 2013

ロケの合間に、密売組織から小道具と勘違いして受け取ってしまった拳銃がきっかけとなり、現地警察・マフィアの双方から追われることになってしまう市原隼人…。フェイクドキュメンタリー的なオープニングから、本格的なアクションへと加速してゆく新感覚ショートフィルム。

市原隼人プロフィール

1987年2月6日生まれ、神奈川県出身。2001年『リリイ・シュシュのすべて』(2001年/岩井俊二)で映画主演デビュー。2003年に『偶然にも最悪な少年』主演(2003年/グ・スーヨン)で日本アカデミー賞新人賞受賞。その後も、『チェケラッチョ!!』主演(2006年/宮本理江子)、『神様のバズル』主演(2008年/三池崇史)、『ROOKIES-卒業-』(2009年/平川雄一朗)、『猿ロック THE MOVIE』主演(2010年/前田哲)、『ボックス!』主演(2010年/李闘士男)、『DOG×POLICE 純白の絆』主演(2011年/七高剛)、『『黄金のバンタム』を破った男～ファインディング原田物語～』主演(2014年/CX)など多数の映画作品、テレビドラマに出演。また、待機作品に映画『ホテルコパン』主演(2014年秋～2015年春公開予定/門馬直人)、『極道大戦争』主演(2015春公開予定/三池崇史)がある。

ベストアクター / アクトレスアワード

オフィシャルコンペティション作品の中から優秀な俳優と女優に贈られる賞

		作品タイトル	受賞者
インターナショナル部門	ベスト・アクター	悪の連鎖(SEQUENCE)	ジョー・ハースリー
	ベスト・アクトレス	アオバズク(Morepork)	ケイト・ファーガソン
アジアインターナショナル部門	ベスト・アクター	掃除屋(Cleaner)	林子洋 (リン・ジャン)
	ベスト・アクトレス	生贄(The Pig)	辜容高 (カウ・クーヨン)
ジャパン部門	ベスト・アクター	はちきれそうだ(Verge of Explosion)	白井哲也
	ベスト・アクトレス	平穏な日々、奇蹟の陽(Light Along)	有村架純



有村架純主演、主題歌にandrop SSFF & ASIAオフィシャルコンペティションジャパン部門ノミネートされ初上映された

『平穏な日々、奇蹟の陽』

榊原有佑 / 日本 / 24:59 / フィクション / 2013

東京でモデルの仕事が上手いかず地元に戻って来た紗季。

花火大会の夜、高校時代に憧れていた同級生真美と偶然出会い…。

ジャパン部門受賞:有村架純プロフィール

1993年2月13日生まれ。兵庫県出身。2011年、東京ディズニーシー「春のキャンパスデーパスポート」でCM初出演。

11月、『ギャルバサラ-戦国時代は圏外です-』で映画初主演。2013年NHK連続テレビ小説「あまちゃん」で、小泉今日子演じる天野春子の若かりし頃を演じて国民的人気を博し、映画『劇場版SPEC～結～爻ノ篇』、ドラマ『失恋ショコラティエ』など数々の話題作やコマーシャルに続々と出演。現在、テレビドラマ「弱くても勝てます～青志先生とへっぽこ高校球児の野望～」や「MOZU Season1～百舌の叫ぶ夜～」に出演中、映画では『女子ーズ』が絶賛公開中で、マーニー役で声の出演となる映画『思い出のマーニー』(スタジオジブリ)が2014年7月19日に公開を控えている。

モエスターアワード



モエスターアワードは、シネマに愛されるシャンパンブランド「モエ・エ・シャンドン」と「SSFF & ASIA」に共通する5つの哲学(「パイオニア精神」「グローバルな視点」「洗練された価値創造」「自己達成力」「わかちあう心」)を持ち未来の映画業界を担う輝くスターに贈られるアワードかつ両ブランドのイメージにマッチした未来の映画業界を担う輝くスターに贈られるアワードです。



『二人の秘密』(CHICAS DAY)

監督:スーザン・ベハール / スペイン / 10:00 / フィクション / 2013

今日は何でもありの女子会。

ただの遊びであることさえ忘れなければ…。

監督プロフィール

15年間広告業に携わった後、短編『ジョセリーン』で

脚本家・監督デビューし20以上の賞を受賞。

最近では映画だけでなく、テレビコマーシャルの撮影にも初参加。

Style of Cinema

SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL & ASIA 2014

【SSFF & ASIA 2014 テーマ】

「STYLE OF CINEMA」

あらゆる映像作家が追求するビジュアルアートのスタイル。そのスタイルの原点こそがショートフィルム。スタイルとは何か―。

今年のメインビジュアルでは人物の原点であるアダムとイブが、光の3原色で「Style of Cinema」を表現します。

■ショートショートフィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA) について

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優の別所哲也が、1999年に立ち上げたもので、欧米のショートフィルムを日本に紹介してきた「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」は、2013年の開催で15周年、また、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成目的から2004年に誕生した「ショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF AISA 共催: 東京都)」は10周年を迎えます。現在、この2つの映画祭が“SSFF & ASIA”として同時開催されており、アジア最大級の国際短編映画祭へと成長しています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショート シアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ28万人を動員し、日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げています。

同年には当時の東京都知事、石原慎太郎氏の発案により、アジア発の新しい映像文化の発信、新進若手映像作家の育成目的からショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF ASIA) を立ちあげ、現在はSSFFとSSFF ASIAという2つの映画祭が「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)」として同時開催されており、アジア最大級の国際短編映画祭へと成長しています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショート シアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ27万人を動員し、日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げています。

また、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、メキシコ、マレーシアと海外に展開も重ねるほか、海外映画祭との幅広いネットワークをいかし、日本作品を海外へ向けて発信する活動も積極的に行っています。本映画祭では、2007年に『MEI 美』がノミネートとなり、『台北の朝、僕は恋をする』で長編デビューをしたアーヴィン・チェン監督、『881 歌え！ パパイヤ』がシンガポールで大ヒットとなったロイストン・タン監督、2010年に米国アカデミー賞にノミネートされた『マイレージ・マイライフ』のジェイソン・ライトマン監督など、本映画祭を経てチャンスを掴み、長編監督として成長していった例も少なくありません。今や第一線で活躍するこれらの監督のように、世界に羽ばたく若きクリエイターを本映画祭はこれからも応援していきます。



SSFF & ASIA 2014 オープニングセレモニー



6月4日「ショートフィルムの日」の
ラフォーレミュージアム原宿

<メディアからのお問い合わせ先>

PR事務局(サニーサイドアップ内) 担当: 澤井(080-4170-8690)・飯島
TEL: 03-6894-3200 FAX: 03-5413-3050
e-mail: sawai@ssu.co.jp

<ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局>

担当: 高橋(090-3049-1284) 川村(090-3049-0436)
TEL: 03-5474-8201 / FAX: 03-5474-8202
e-mail: press@shortshorts.org